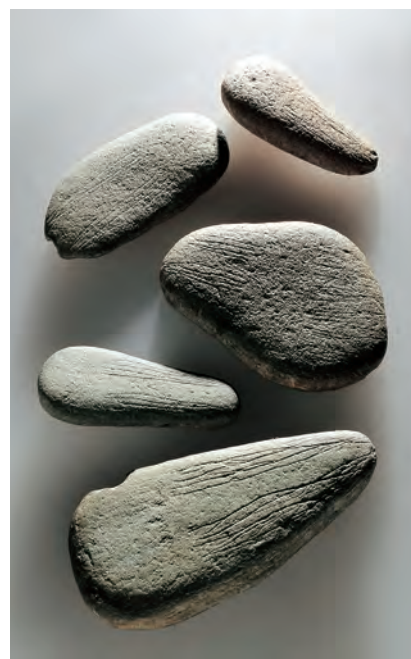


発行所／愛媛県町村会・愛媛県町村議会議長会
〒790-0001 松山市一番町4丁目1番地2
TEL089-941-7598(代表)
FAX089-945-1318



久万高原町「上黒岩岩陰遺跡」

上黒岩岩陰遺跡は、縄文時代のはじまりの頃の岩陰遺跡です。世界的にも珍しい女性像「石偶」や、日本最古級の土器、石器や、アクセサリー（装身具）が数多く見つっていますが、その発見は中学生によるもので、『岩かげの女神石』という児童文学にもなっています。

日本最古のペット(犬)の墓も見つっていますが、人骨も多く見つっています。人骨の約6割が子どもで、成人のうち約7割が女性という言わば「女性・子どもだらけ」です。そう言えば、見つっている遺物も、石偶をはじめ、女性的なものが目立つ気がします。



Contents

町長海外地方行政調査(台湾)	2
四国四県町村長・議長大会に向けて	3
愛媛県町村会第2回全員連絡会	3
四国地区町村議会議長会会長会	4
総合事務組合だより	5
愛媛県市町振興協会臨時理事会	6

地方財政に関する研修会	6
一筆	7
令和元年度町(市)職員法制執務研修会	7
8月の行事	7
お知らせ「ハロウィンジャンボ」	8

町長海外地方行政調査(台湾)を実施

愛媛県町村会

愛媛県町村会は、町長海外地方行政調査として、8月8日(木)から11日(日)までの4日間の日程で台湾台北市で視察研修を実施した。

これは、7月18日に新しく就航したエバー航空の松山⇄台北線の利用促進や、台湾における地方自治制度等の視察調査を行うこと。また、現地の企業・商社へ県内9町の魅力や特産品等をPRすることにより、各町へのインバウンド客の増加を図り、

地域の振興発展を図ることを目的としたもの。

稲本会長をはじめ、県内9町長全員が出席した。

8月8日の1日目には、台湾の総合商社である「友士股份有限公司」を訪問し、加藤董事長らと面談、協議を行い、各町長から特産品等のPRを行った。PRの際には、本会が作成した「えひめの町ガイド」に沿って説明や紹介を行った。

その後、町長は、松山空港利用促進協議会の主催で開かれた「松山―台北線就航記念祝賀会」に出席。

出席者は、台湾側関係者約100名、愛媛県側関係者約50名。主催者である愛媛県中村知事の挨拶後、盛大に祝賀会が開かれ、県内町長は、台湾当局やエバー航空関係者らと意見交換を行った。

8月9日の2日目は、台風の影響による悪天候で、台湾政府機関に出勤禁止命令が発令されたため、予定の訪問先がすべてキャンセルとなる中、幸い日本から台湾へ出店している「王将フードサービス」渡邊社長ほかと意見交換を行うことができた。

8月10日の3日目は、台北市内の百貨店「微風復興店」の内子町「森文フェア」(森文醸造株式会社)を訪問し、日本からの輸入品や愛媛県の特産品の販売状況について視察を行った。

視察研修全体を通じて、日本と台



友士股份有限公司での協議



王将フードサービスとの意見交換



微風復興店 森文フェアの視察



湾との貿易や交流等、日・台関係の諸情勢について意見交換できたことは大変有意義であった。

今回の町長海外地方行政調査実施にあたり、愛媛県国際交流課、内子町、鬼北町等のご協力に預かったほか、現地でアテンドいただきました桔想国際有限公司 網本様に紙面を借りてお礼を申し上げます。

四国四県町村会・町村議会議長会事務局長会議 四国四県町村長・議長大会に向けて 8月5日 愛媛県で開催

四国四県町村会・町村議会議長会
合同事務局長会議が、8月5日日本
県が当番県として、えひめ共済会館で
開催され、四県事務局長や担当者ら
が出席。10月2日(水)午後2時から、
ホテルアネシス瀬戸大橋で開催され
る「令和元年度四国四県町村長・議
長大会」に向けて協議を行った。
会議では、大会における日程や役
割分担を確認し、四国各県から提出
された議題について調整を行った。
なお、大会要綱は次のとおりであ
る。



令和元年度四国四県町村長・議長大会 開催要綱

1. 名 称 四国四県町村長・議長大会
2. 目 的 四国の57の町村長・議長が一堂に会し、議
会と執行部の立場を超えて「元氣溢れる地域をつく
る」との強い信念のもと、町村の抱える重要課題
について研修・意見交換・審議し、その実現のた
めお互いに連携を密にしながら、総力を結集して
行動し、多様で個性豊かな町村自治の振興と住民
福祉の向上を期する。
3. 主 催 四国四県町村会
四国四県町村議会議長会
4. 日 程 令和元年10月2日(水)
(1) 大 会 午後2時00分～3時25分
(2) 記念講演 午後3時40分～5時00分
「地域再生の鍵
—地域の宝に磨きをかけて—」
長野県立大学グローバルマネジメント学部
教授 田村 秀 氏
(3) 意見交換会 午後6時00分～
大会・宿泊：ホテルアネシス瀬戸大橋
意見交換会：セント・ベイヒルズ
5. 開催場所
6. 出席者 四国四県町村長 全員
四国四県町村議会議長 全員
7. 審議事項
・提案議題
・決議・特別決議
8. 大会次第 (1) 開会のことば (2) 国歌斉唱
(3) あいさつ (4) 宣 言
(5) 来賓祝辞
香川県知事、香川県議会議長、
全国町村会長、全国町村議会議長会長
(6) 議長選出
(7) 議 事 提案議題審議
(8) 決議・特別決議 (9) 共同アピール
(10) 実行運動方法協議 (11) 閉会のことば
9. 意見交換会 (1) 開 会 (2) あいさつ (3) 乾 杯
(4) 懇 談 (5) ガンパローコール
(6) 閉 会

第2回全員連絡会を開催

愛媛県町村会

愛媛県町村会では、8月30日午後4
時からネストホテル松山2階「桜の
間」で「第2回全員連絡会」を開催
した。

会議には、県内8町長と上島町副
町長が出席し、次項により進められ
た。

1 開 会 あいさつ 稲本会長 2 協議事項

- (1) 愛媛県市町振興課からの連絡
事項について
・ゴルフ場利用税の堅持に向け
た要望活動について
・日中韓3か国地方政府交流会
議について

三木愛媛県市町振興課長から説
明があり、一同了承した。

- (2) 台湾企業等への各町特産品の
販路開拓について
右記について、稲本会長及び事
務局長が説明し、来年度の実現に
向け、計画を行うことについて一
同了承した。

- (3) 全国町村長大会前後の関係団
体行事一覧表について

- (4) 令和元年度「災害共済関係事
業加入推進運動」及び「公共建
物火災予防及び交通安全運動」
の実施について

以上、事務局長が説明し、一同
了承した。

4 報告事項

- (2)(1) 全国町村会の新役員について
全日本自治団体労働組合(自

治労)愛媛県本部からの要請書
について
以上、事務局長が報告し、一同
了承した。

5 その他

- ・次回本会全員連絡会について
次回の開催については、事務
所移転の関係もあり、時期や場
所については、日程調整のうえ、
会長に一任することを決定した。

なお、会議終了後、愛媛県政策推
進統括部長 八矢 拓氏、総務省自
治財政局 課長補佐 萩原 啓氏を
迎え、町長らと意見交換会を行った。



議長全国大会に

「四国8の字ネットワーク」と「四国新幹線」を要望

四国地区町村議会議長会会長会

第181回四国地区町村議会議長会会長会が高知県当番により8月23日に「高知県自治会館」で開催され、四国4県の会長及び事務局長等が出席した。

会議は、はじめに地元高知県の岩垣会長及び四国地区会長の加藤徳島

県会長があいさつを述べた後、規約の規定により岩垣高知県会長が議長席に着いて、「議事」に入った。
まず、会議録署名人に次期開催県の森永愛媛県会長を指名した後、次のとおり議事が進められた。

議 事

1 令和元年度四国四県町村長・議長大会について
丹香川県事務局長から、資料に基づき説明があり、協議の結果、原案のとおり決定した。

2 第60回四国地区町村議会議長会研修会について
小原徳島県事務局長から令和元年度の研修会の開催概要及びその持ち方について説明があり、協議の結果、原案どおり開催することと決定した。

3 第63回町村議会議長全国大会に提出する四国地区町村議会議長会の要望事項について
小原徳島県事務局長から、資料に基づき説明があり、協議の結果、原案（別掲）のとおり決定した。

4 次期四国地区会長会の開催について
次回は、愛媛県で開催することに決定した。
※ その後、調整の結果、令和2年3月26日に内子町で開催することとなった。

第60回四国地区町村議会議長会研修会開催概要

- 主 催 四国地区町村議会議長会（当番：徳島県町村議会議長会）
- 開催日 令和元年10月16日（水） 午後1時～午後4時35分（予定）
- 会 場 徳島グランヴィリオホテル
徳島市万代町3丁目5-1 TEL 088-624-1104
- 表 彰 四国地区町村議会議長会表彰
四国地区町村議会議長会表彰規程に基づいて、町村議会議員として在職19年以上で功労のあった者を所属町村議会議長の推薦により表彰する。
- 日 程
12:30～13:00 受 付
13:00～13:20 開会あいさつ（四国地区町村議会議長会会長）
自治功労者表彰
13:20～14:50 講 演①
（政治ジャーナリスト 田崎 史郎氏）
14:50～15:00 休 憩
15:00～16:30 講 演②
（四国アイランドリーグplus 理事長 坂口 裕昭氏）
16:30～16:35 閉会あいさつ（香川県町村議会議長会会長）
- 出席対象者 町村議会議長、副議長、議員、議会事務局職員、町村長、識見監査委員等

「四国8の字ネットワーク」並びに「四国新幹線の整備促進」等
高速交通ネットワークの整備促進に関する要望

「四国8の字ネットワーク」は、本州四国連絡高速道路と一体となって、全国的高速交通ネットワークを形成し、物流をはじめとする様々な経済活動の生産性を高め、地域間の交流を促進するなど、四国地方の活性化を図っていくうえで重要かつ根幹となる社会資本である。

しかしながら、高速交通ネットワークの機能が十分形成されていない四国地方は、それぞれの地域が持つ豊かな自然や多様な資源を活かしきることが困難であり、地域産業の発展や観光振興に大きな影響を及ぼしている。

これに加えて、近い将来発生すると予測される南海トラフ地震等の災害時において、迅速な人命救助や緊急支援物資の輸送のためには「命の道」となる「四国8の字ネットワーク」の早期整備は急務である。

今後、四国地方が地域の強みを生かし、地域連携によって自立し、災害に強い国土を形成し、住民の安全・安心な暮らしを確保するためにも、早期に「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクを解消し、暫定二車線区間の四車線化等による安全性や信頼性を高めることは四国にとって喫緊の課題である。

また、現在、四国を除く全国に新幹線のネットワークが形成されており、それぞれの地域の経済活性化はもとより交流の拡大や観光の振興に大きく貢献している。

しかしながら、四国における新幹線整備は基本計画に留まっており、他地域に比べ大きく遅れを取っている。

現在、国においては、新幹線などの高速交通ネットワークを整備し、地域の活性化につなげていく「地方創生回廊」の実現に取り組んでおり、このためには全国各エリアに新幹線が整備されることが不可欠である。

特に四国の新幹線は、今後の四国の将来を見据えた地域づくりに必要不可欠な交通インフラであり、西日本の広域交流圏形成、国土軸のリダンダンシー確保による災害耐力の向上、国土全体の一段の有効活用にも大きく寄与するものと考えられる。

よって、下記の事項について強く要望する。

記

- 地域の活性化や生活利便性の向上、都市と地域の連携強化、さらには、南海トラフ地震等の災害時の緊急輸送道路の確保や救急患者の輸送時間の短縮などに大きく寄与する「四国8の字ネットワーク」のミッシングリンクの早期解消及び暫定二車線区間の早期四車線化等を図ること。
- 四国の新幹線の整備計画格上げに向けた調査に関して、令和2年度予算措置を講じるとともに、「地方創生回廊」の実現のため、新幹線建設予算を大幅増額すること。

総合事務組合だより

令和元年第 1 回愛媛県市町総合事務組合議会臨時会は 8 月 29 日に開催され、平成 30 年度決算など 8 議案を上程し、いずれも承認又は原案のとおり可決・決定された。決算の概要は、次のとおり。

なお、清水組合長の辞職に伴う、次期組合長の選挙を行い、稲本隆壽内子町長が組合長に選出された。任期は、令和元年 8 月 30 日～令和 3 年 4 月 25 日。

【平成 30 年度 愛媛県市町総合事務組合一般会計歳入歳出決算】

(歳入)		(単位：円)
款	項	金 額
1 負担金		5,790,916,791
	1 退職手当負担金	5,461,089,503
	2 消防負担金	292,832,888
	3 交通災害共済掛金	28,688,400
	4 自治会館負担金	8,050,000
	5 公務災害負担金	256,000
2 使用料		3,300,000
	1 会館使用料	3,300,000
3 消防基金等支出金		261,385,162
	1 消防基金支出金	261,385,162
	2 議員連合会支出金	0
4 財産収入		2,962,947
	1 財産運用収入	2,962,947
5 繰入金		3,012,460,000
	1 基金繰入金	3,012,460,000
6 繰越金		476,285,771
	1 繰越金	476,285,771
7 諸収入		49,365,857
	1 預金利子	98,239
	2 団体支出金	45,204,235
	3 雑入	4,063,383
歳 入 合 計		9,596,676,528

(歳出)		(単位：円)
款	項	金 額
1 議会費		109,752
	1 議会費	109,752
2 総務費		97,835,626
	1 総務管理費	97,824,426
	2 監査委員費	11,200
	3 認定委員会費	0
	4 審査会費	0
3 事業費		4,269,866,700
	1 退職手当事業費	3,704,274,885
	2 消防事業費	537,249,136
	3 交通災害事業費	15,741,871
	4 自治会館事業費	12,215,977
	5 議員公務災害事業費	384,831
4 公債費		0
	1 公債費	0
5 諸支出金		4,662,184,000
	1 基金積立金	4,662,184,000
6 予備費		0
	1 予備費	0
歳 出 合 計		9,029,996,078

【基金積立金会計】		(単位：円)
積立金種別	金額	
退職手当基金積立金	10,811,230,000	
消防賞じゅつ金等基金積立金	174,794,000	
交通災害見舞金基金積立金	205,813,000	
会館財政調整基金積立金	131,116,000	
議員公務災害補償基金積立金	4,819,000	
合計	11,327,772,000	

【翌年度繰越金内訳】		(単位：円)
積立金種別	金額	
退職手当繰越金	541,234,613	
消防繰越金	2,305,622	
交通災害繰越金	14,612,906	
自治会館繰越金	8,290,998	
公務災害繰越金	236,311	
合 計	566,680,450	

【平成 30 年度 各事業における支払の状況】

退職手当		(単位：円)	
種 別		人 数	金 額
特別職		7	27,667,000
一般職 (256名)	普通退職	79	318,650,534
	勸奨退職	22	439,564,057
	定年退職	152	2,895,104,620
	その他退職	3	18,481,623
合 計		263	3,699,467,834

消 防		(単位：円)
種 別	人 数	金 額
団員災害補償費	13	2,668,339
障害・遺族補償年金	3	5,018,798
従事者災害補償費	1	54,025
退職報償金	575	253,644,000
特別退職報償金	18	1,049,000
合 計	610	262,434,162

交通災害		(単位：円)
種 別	人 数	金 額
災害見舞金	148	10,630,000

議員公務災害		(単位：円)
種 別	人 数	金 額
災害報償費	0	0

第2回臨時理事会を開催 稲本理事を理事長に選定

(公財)愛媛県市町振興協会

公益財団法人愛媛県市町振興協会(理事長・稲本隆壽内子町長)は、令和元年度第2回臨時理事会を8月30日(金)午前10時45分からえひめ共済会館で開催した。

出席者は、石川勝行(新居浜市長)・清水宣郎(松山市議会議長)・稲本隆壽(内子町長)・赤松紀幸(松野町議会議長)・渡部明忠(愛媛県町村会事務局長)の各理事及び三木裕太郎(愛媛県市町振興課長)・平岡陽一(愛媛県市長会事務局長)・酒井啓司



(税理士)の各監事。

理事長不在のため、議長には定款により渡部常務理事が当たり、「理事長の選定について」を議題とし、稲本理事を理事長に選定することが決定された。

稲本理事長が選定されたことから、定款の定めにより稲本理事長が議長となった。

続いて、「令和元年度収支補正予算について」を議題とし、愛媛県自治会館の建て替えに伴う本年度寄附する額(総額は変更なし)を補正するもので原案のとおり承認された。

また令和元年度定時評議員会の日程について諮ったところ書面により開催することで決定した。

令和元年度ハロウィンジャンボ宝くじの発売計画について説明し、売上促進の協力方依頼した。

なお、提出された議案は次のとおり。

○議 事

第1号議案

理事長の選定について

第2号議案

令和元年度収支補正予算について

第3号議案

令和元年度定時評議員会の開催について

地方財政に関する研修会開催

(公財)愛媛県市町振興協会

公益財団法人愛媛県市町振興協会(理事長・稲本隆壽内子町長)は、8月30日、NOSA I えひめで「令和元年度地方財政に関する研修会」を開催した。

本研修会は、「今日の厳しい財政状況の中、地方は子ども・子育て支援や地方創生等に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことが求められている。こうした状況の中で、現在の自治体財政を取り巻く諸課題など、最新の動きについて理解を深めるとともに、今後の地方行政の進展を期する」を目的に開催したもので、



各市町から32名が出席した。講師は総務省自治財政局調整課課長補佐 萩原 啓氏。

「令和元年度地方財政に関する研修会」開催要領

主催 愛媛県市町振興協会

1 目 的

今日の厳しい財政状況の中、地方は子ども・子育て支援や地方創生等に取り組みつつ、安定的に財政運営を行うことが求められている。

こうした状況の中で、現在の自治体財政を取り巻く諸課題など、最新の動きについて理解を深めるとともに、今後の地方行政の進展を期するため、本研修会を開催する。

2 日 時

令和元年 8月30日(金) 14時00分～

3 場 所

愛媛県農業共済組合 5階 第1会議室

住 所：松山市二番町4-4-2

4 対象者

各市町の地方財政(地方創生)担当部課長および担当者等(4名以内)

5 研修テーマ 「地方財政をめぐる諸課題」

6 講 師

総務省 自治財政局 調整課 課長補佐

萩原 啓 氏

(元 愛媛県総務部 総務管理局 市町振興課長)

7 日 程

13:30～

受 付

14:00～14:05

開 会

主催者あいさつ

14:05～16:20

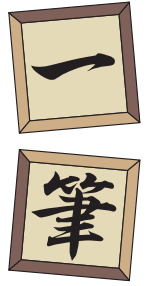
研 修

16:20～16:30

質疑応答

16:30

閉 会



熱い声は続け

『夏は暑いもの(季節)』あたり前と云われようとも、やはり度を越した暑さはたまらなく暑い。夏季である。

立秋(暦)を過ぎ、夏真っ盛りであつた前日より気温が2、3℃下がると、その日は特別に涼しく感じると、真夏の嫌々ながらも日々強い陽射しの昼間、40℃前後の高温に順応して来た身体も今は、「ほっと」する。朝晩は少し秋の気配がする8月下旬。

東京オリンピック・パラリンピックは、1年後の夏の開催である。年々蒸し暑さが増して来ているようなこの夏季・東京。自国アスリートの成果による気分転換は大である。

ただ厳しい蒸し暑い日本の気候に外国人は、大丈夫であろうか危惧は尽きない。ここは夏季に対する人の順応性とともに、開催地の各般にわたる十分な『おもてなし』に頼るしかないか。

さて、8月は、74年前の6日の広島9日の長崎、人類にあつてはならない原爆の惨劇を日本人は忘れられない月である。某国の某高校が「きのこ雲」をロゴマークとして使用しているなどは論外である。世界の人々は原爆を忘却しないでほしい。実体験(自)がなければ、その怖さが意識出来ないようでは、平和は遠のき、いつの日か何

処かで再度惨劇が起るであらう…。また9日は奇しくも不可侵条約を一方的に破棄した旧ソ連軍参戦により、約30万人が苦難の道へ、約60万人(内6万人が死亡帰国出来ず)が戦後抑留された始まりの日でもある。15日は我が国の終戦記念日である。戦争の悲惨さを知り尽くした日本人の遺伝子に、戦はトラウマであり、平和の心しか持ち合わせない。この8月15日は、その真情を世界に発信する「平和を告げる日」でもある。そもそも先の大戦に関わる歴史を戦後生まれの人々は、是非とも知るべきである。特に何故我が国が戦争に至ったのかなど。

この世の中、頭の機能が破壊されたかのような理解不可能者が、国内外を問わず出現して来る時代になった。ただ自我欲、単純過激な感情の持ち主だけの人なりでは済まされない。国対国しかり、人対人の社会における約束事、規範は、常に確と守るべきである。身勝手な行動・言動は、その人間としての低次元を表現するのみである。要は何事も一貫して、ハイレベルで真の筋が通る社会こそ、平和な共同社会といえる。

12日は、日航ジャンボ機が御巣鷹山に墜落、520人が帰らぬ人となった日である。34年前と同様に今年も高校球児の声が、暑い甲子園に響いた。この純粋な熱い声は、いついつまでも続くようお願いしたい。

(T)
「戦争の本質は暴虐である。戦争における節度は、愚昧にはかならぬ」
(フィッシャー卿 英国の軍人)

法制執務研修会を開催

各町から11人が参加

愛媛県町村会では本年度の町(市)職員研修計画に基づいて「令和元年度町(市)職員法制執務研修会」を8月21日午後1時30分からえひめ共済会館で開催した。

この研修会は、市町の法制執務担当職員として必要な条例、規則の立案や解釈等の知識を修得し、市町の法制の整備充実に役立てることを目的に開いたもの。

講師は、県市町振興課の大西行政係長で法制執務担当職員ら11人が出席し、終始、熱心に研修が行われた。



8月の会と催し

- ▽5日 第62回愛媛県公立学校施設整備期成会定例評議員会、四国四県町村会・議長会事務局長会議
- ▽7日 愛媛県子ども生活実態調査検討会
- ▽8日 町長海外地方行政調査(台湾(11日まで))
- ▽21日 令和元年度町(市)職員法制執務研修会、熊本地震被災市町村視察事業(23日まで)
- ▽22日 第58回交通安全県民大会、(公社)愛媛県園芸振興基金協会令和元年度第1回運営委員会
- ▽23日 第181回四国地区町村議会議長会会長会
- ▽26日 令和元年度過疎対策担当職員研修会(27日まで)
- ▽28日 令和元年度第1回愛媛県地域交通活性化推進会議
- ▽29日 令和元年度第1回愛媛県市町総合事務組合臨時会、愛媛県子ども愛顔応援県民会議(第1回)、令和元年度第1回愛媛県保健医療対策協議会
- ▽30日 令和元年度第2回臨時理事会、(公社)愛媛県市町振興協会令和元年度地方財政に関する研修会、愛媛県町村会第2回全員連絡会
- ▽31日 G20愛媛・松山労働雇用大臣会合歓迎レセプション

当せんのチャンス広がる

ハロウィン ジャンボ

1等前後賞合わせて5億円
1等3億円、前後賞各1億円

5億円

3千万円

ミニ

1等前後賞合わせて3,000万円
1等2,000万円、前後賞各500万円

ジャンボなハロウィンで大収穫!

この宝くじの収益金は
市町村の明るいまちづくりや
環境対策、高齢化対策など
地域住民の福祉向上のために
使われます。

インターネットからも
購入できます!

宝くじ公式サイト

<https://www.takarakuji-official.jp/>

9月24日(火)

発売期間 9月24日(火)~10月18日(金) 抽せん日 10月30日(水)

**同時
発売**

(公財)愛媛県市町振興協会
各1枚 **300円**
2019年 新市町村振興宝くじ